



アンコールでくもで座の団員と熱唱した黒色すみれ

和の装いで白秋作品を披露

くもで座&黒色すみれジョイントステージ

水の郷ホールで3月31日、市民劇団くもで座と黒色すみれのジョイントステージ「とんかじょんの春・たんぼぼの咲く頃に～北原白秋に寄す～」がありました。黒色すみれはソプラノ歌手のゆかさんとバイオリニストのさちさんの2人組。黒色すみれが、水の郷でコンサートを行うのは昨年に続き2回目です。まずくもで座が北原白秋作品を、次に黒色すみれが白秋の詩に曲を付けた作品を中心に披露し、訪れた観客を魅了しました。

古式ゆかしい流鏝馬が奉納

高畑公園桜まつり

3月23日から4月8日まで、高畑公園桜まつりがありました。4月1日には、三柱神社の参道で流鏝馬が奉納。飯塚市の小笠原流流鏝馬宗家、源長統さんらが、ほぼ満開となった桜並木の参道で流鏝馬を披露しました。狩り装束を身にまとった射手が、3か所に置かれた的を射抜くと、集まった大勢の見物客から歓声があがり拍手が送られました。また、まつり期間中、同神社境内や同公園で花見を楽しむ人たちにぎわいました。



的めがけて弓を引く射手に見物客の注目が集まった

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

武家住宅に昭和の香り漂う

昭和の記憶 写真展 in 武家屋敷 2012



パネル展示された写真に見入る来館者でにぎわった

柳川観光活性化協議会は、昭和時代の写真を展示した「昭和の記憶写真展」を3月24日から4月8日まで武家住宅の十時邸で催しました。市民などから写真を提供してもらい、昨年に引き続き実施。会場には消防訓練や本町上空の写真のほか、うなぎ供養碑の製作の様子やお雛様水上パレードなど、昭和10年代から40年代ごろの市内の写真、約50点が所狭しと展示されました。観光客や市民が立ち寄り、当時の柳川の様子が映し出されたセピア色やカラーの写真を見て楽しみました。

若かりしころの宗茂と閻千代描く

くもで座 10 周年企画「続・柳河国盗り物語」

柳川市民劇団「くもで座」は創立10周年記念企画第1弾として、3月24日と25日に、「続・柳河国盗り物語“宗茂と閻千代”」を水の郷ホールで公演しました。平成20年3月に上演した立花宗茂の幼少期から元服するまでを描いた作品の続編。宗茂の柳川拝領から朝鮮出兵、関ヶ原の戦いで豊臣方の西軍につき柳川を去るまでを、正室の閻千代姫を絡めて公演しました。2日間で383人の観客を動員。団員たちは迫真の演技を披露し、ステージの幕が下りると大きな拍手が送られました。



朝鮮に出兵する宗茂らを閻千代が見送る一幕

完熟トマトはおいしかったよ

トマト収穫体験「完熟トマトの丸かじり」



自分で収穫した完熟トマトをそのままガブリ

体験型農業を行っている「よかばんも～おいでん会」は3月25日、徳益の「でんー農場」のトマトハウスで、よかばんも～体験「完熟トマトの丸かじり」を行いました。おいでん会のメンバーの田中良一さんのトマト畑に、市内外から15人が参加。収穫体験では、参加者自ら収穫した生の完熟トマトを手づかみで丸かじりしました。また、トマトと塩、オリーブオイルだけで調理したトマトパスタなどに舌鼓を打った参加者は「こんなにおいしいトマトは、初めて食べました」と感想を語りました。



今月の入選作品・課題「椿」
「落椿」

太陽と海を眺めて椿咲く

古賀俊郎 (新外町)
江口和子 (今古賀)
持永マサ子 (新外町)
谷 祥子 (柳町)
後藤正毅 (金納)
大橋弘茂 (百町)
龍 政人 (間)
廣松ヨシエ (蒲生)
原田アツ子 (有明町)
萩尾法子 (七ツ家)
三池多美 (西魚屋町)
古賀幸子 (横山町)
高崎登美雄 (間)
森永ちづる (七ツ家)
古賀治美 (南浜武)
黒田和代 (吉富町)
甲斐田園一 (吉富町)
中原由美 (新船津町)
浦 哲之 (栄)

【句評】「落椿冠かつて流れくる」は武田飴香さんの句、氏は曙町出身で写生のよさを生涯守り通された方でした。この句の山は中七にあり氏独自の写生の目を感じとれる句として印象に残っています。
本月の美雪さんの句、椿といえどついても景が小さくなりがち、それにとらわれることなく大きくまとめたところがよかったです。

◆選者の句

妻連れてくればよかつた玉椿

鬼郎

俳句を募集しています。選句者は大曲鬼郎さん。5月の課題は「葱坊主(葱の花)」です。入選作品は5月15日号に掲載します。
●応募方法 俳句と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係(☎77・8425、FAX 74・5520)へ、4月27日(※必着)までにお送りください。